

ASAHi

No.194



東日本大震災 TPP 特集号

青年部による堀川保育園青果物宣伝

CONTENTS

東日本大震災一刻も早い復興の為に……………2~3
平成23年度通常総代会資料の誤りについて … 4
輸入関税がゼロ日本農業は壊滅的 …………… 5

「平成の開国」Yes or No? TPPで日本の農業はどうか?…6~7
JAのひろば……………8~9
インフォメーション……………10

東日本大震災

一刻も早い復興の為に

3月11日、午後2時46分から、未だ余震の続く（4月28日現在）この大震災は東日本に限らず、本場に多くの被害を残しました。

銚田市はもちろん、県内外、東日本全域が地震被害を受け、現在も復旧、復興作業が続いています。特に近くの大洗など県内臨海の土地は軒並み津波被害を受け、多大な爪痕を残しています。

地震被害と津波被害の後に待っていたのは、ライフラインの分断と、深刻な物資の不足でした。電気・ガス・水道が復旧を始めたのは地震発生から丸二日後から。



震災直後のJA本所内部



光選荷ラインにも被災

未だ復旧の目途が立たない地域もあります。また、この2週間で最も不足したのはガソリン・灯油などの燃料類でした。農産地の強みとして食材が現地です。手に入れたことは大きかったです。井戸が残っていることも幸いです。

水を汲み上げ、被災者に分ける姿が各地で見られました。しかし燃料類はそういうわけにはいきません。日常の足、農業機械、出荷時のトラック。また春を待つ余寒の3月は暖房器具が無ければいられません。現在、県内では供給量も増え、手に入るようになりましたが、東北被災地では未だガソリンの不足は続いているようです。



震災により沈んだ地盤

そして現在、もっとも大きな問題として挙がるのが放射性物質による農作物の風評被害問題です。福島第一原発事故による出荷停止措置はほうれん草に始まり、生乳、パセリ、かき菜と拡大し、それに伴う風評被害は甚大となっています。事故の早急な解決と、被害作物の安全性調査とその周知徹底、さらに流通関係全般における風評被害起さないための政府の指導が必要で、今回の事故により農業生産者が受けた経済的被害について東京電力と政府にその責任において保障することを早急に明確にしてもらわねばなりません。

JAは被災地の復興と、組合員の皆様、農家と農地がそれぞれ復旧・復興するように全力で取り組んでいます。



出荷停止となり廃棄されるほうれん草



地割れを起こした圃場

東日本大震災被害に対するJA災害資金

- 地震による農業施設（農舎）等が被害にあわれた方
 - ⇒ 系統災害資金（東北地方太平洋沖地震）
貸付限度：500万円 貸付期間：5年以内 利 率：0.43%
受付期間：平成23年3月22日～平成23年6月30日まで
- 原発事故による出荷制限・風評被害に伴う損害にあわれた方
 - ⇒ 系統災害資金（原発事故）
貸付限度：500万円 貸付期間：5年以内 利 率：無利子
受付期間：平成23年4月1日～平成23年9月30日まで
※原発保証金で繰上返済することを要す。
- 地震災害にかかる農家組合員への小口生活資金
 - ⇒ 小口生活資金
貸付限度：50万円 貸付期間：3年以内
利 率：1.0%＋保証料0.5%
受付期間：平成23年3月24日～平成23年6月30日まで
※連帯保証人を付けていただく場合があります。
- 地震災害にかかる農家組合員への生活資金
 - ⇒ 生活災害資金
貸付限度：500万円（生活・自動車関連「動産関連」については限度額300万円）
貸付期間：10年以内 利 率：1.3%＋保証料0.4%～1.2%
受付期間：平成23年4月1日～平成23年9月30日まで

「建物更生共済」及び「My家財」にご加入いただいている お客様への自然災害共済金のお支払いについて

現在ご加入いただいている、建物更生共済およびMy家財に再取得価格の5パーセント以上の被害が発生した場合に、自然災害共済金（加入共済金の額の50%を限度）をお支払いいたします。（加入内容によって異なります）

すでに職員による被害調査を実施しておりますが、損害の認定にあたっては被害個所の修理見積書をご提出いただく必要がございます。お手数ではございますが、JA茨城旭村 本所 共済課までご連絡、ご相談のほどよろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

JA茨城旭村 本所 共済課
TEL 0291-37-0111
または最寄りの支所まで



平成23年度通常総代会資料の誤りについて

総代会資料に誤りがありましたので、以下のとおり訂正致します。

<訂正箇所>

23ページ □ 共済事業 ①長期共済保有高（うち新契約高・当期末保有高）

種類	うち新契約高		満期等減少高			
	件数	金額	件数	金額		
生命総合共済	終身共済	131	1,318,066,510	72	1,910,500,000	
	定期生命共済	4	55,000,000	29	626,800,000	
	養老生命共済	183	1,098,407,394	258	4,909,624,698	
		うちこども共済	27	138,000,000	41	187,000,000
	医療共済	204	24,500,000	1	0	
	ガン共済	18	16,000,000	4	4,000,000	
	定期医療共済	7	30,500,000	18	46,500,000	
	年金	年金開始前	25	11,611,139	14	9,246,033
		年金開始後			0	0
		計	25	11,611,139	14	9,246,033
建物更生共済	86	1,260,300,000	162	2,061,000,000		
合計	658	3,802,773,904	558	9,558,424,698		

種類	当期末保有高		共済付加収入		
	件数	金額			
生命総合共済	終身共済	1,105	21,846,837,360	24,413,104	
	定期生命共済	91	1,351,300,000	2,038,035	
	養老生命共済	2,409	36,709,122,983	47,291,730	
		うちこども共済	588	4,180,900,000	6,949,193
	医療共済	214	88,500,000	2,543,724	
	ガン共済	134	128,500,000	774,486	
	定期医療共済	223	686,600,000	1,256,398	
	年金	年金開始前	222	117,028,832	
		年金開始後	18	10,608,734	
		計	240	127,637,566	2,458,011
建物更生共済	1,621	24,599,823,059	26,340,767		
合計	6,037	85,410,683,402	107,116,255		

65ページ 販売取扱計画（23年度計画・24年度計画）

販売取扱計画（買取販売を含む）

販売取扱計画

（買取販売を含む）

（単位：円）

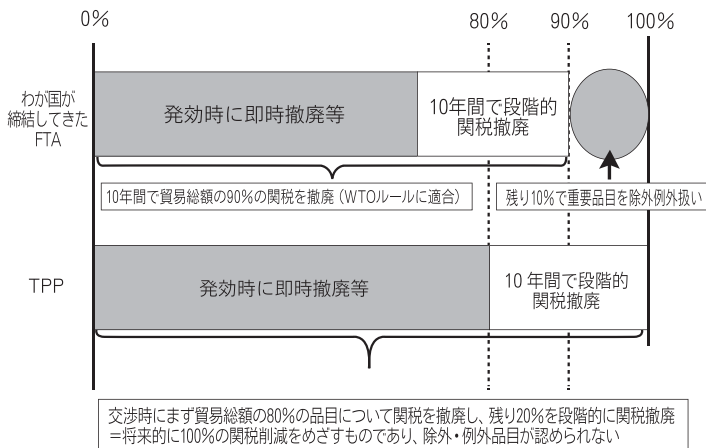
品目	年度	22年度		23年度		24年度		
		22年度計画	実績	達成率	23年度計画	増加率	24年度計画	増加率
米	米	15,000,000	17,397,405	116%	17,500,000	101%	18,000,000	103%
	くず米	2,000,000	850,494	43%	2,000,000	235%	2,000,000	100%
	麦	20,000	237,050	1185%	250,000	105%	250,000	100%
	計	17,020,000	18,484,949	109%	19,750,000	107%	20,250,000	103%
青果物	春メロン	2,372,709,000	2,316,345,502	98%	2,133,234,000	92%	2,083,944,000	98%
	アールスメロン	623,472,000	652,226,872	105%	641,763,000	98%	641,763,000	100%
	トマト	1,332,698,000	1,499,017,240	112%	1,320,986,000	88%	1,320,985,000	100%
	いちご	560,790,000	506,764,025	90%	481,554,000	95%	481,554,000	100%
	甘藷	697,322,000	600,304,267	86%	631,579,000	105%	631,579,000	100%
	みず菜	726,968,000	715,077,113	98%	690,825,000	97%	679,159,000	98%
	ほうれん草	292,892,000	278,272,935	95%	298,702,000	107%	275,964,000	92%
	小松菜	149,700,000	192,546,429	129%	182,561,000	95%	167,939,000	92%
	パプリカ	200,300,000	118,211,487	59%	150,335,000	127%	138,142,000	92%
	その他	325,699,000	412,014,288	127%	370,070,000	90%	356,313,000	96%
	計	7,282,550,000	7,290,780,158	100%	6,901,609,000	95%	6,777,342,000	98%
畜産物	肉豚	470,000,000	497,936,064	106%	532,000,000	107%	534,000,000	100%
	計	470,000,000	497,936,064	106%	532,000,000	107%	534,000,000	100%
直売所・生産者委託分		330,000,000	321,298,738	97%	329,000,000	102%	332,290,000	101%
合計		8,099,570,000	8,128,499,909	100%	7,782,359,000	96%	7,663,882,000	98%

組合員の皆様にお手数をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。

輸入関税がゼロ日本農業は壊滅的

現在政府は、TPP（環太平洋連携協定）への参加をどうするか検討しています。菅首相はTPPの参加に積極的だともいわれています。そもそもTPPとは何なのか、もう一度復習してみましょう。

わが国が締結してきたFTAとTPPの関税撤廃に関する根本的な違い



「TPP」とは
TPPは、原則として全ての品目の関税を10年以内に撤廃するの
が特徴で、自由化の除外・例外品
目を認めていません。農林水産物
の関税撤廃だけでなく、国内制度
の規制緩和・撤廃を含めた包括的
な内容です。これまで日本が締結
してきたFTA（自由貿易協定）
では、全品目の10%程度を関税撤
廃から除外・例外扱いしてしまし
たが、これらと比べれば極めてハ
ードルの高いFTAがTPPとい
えます。

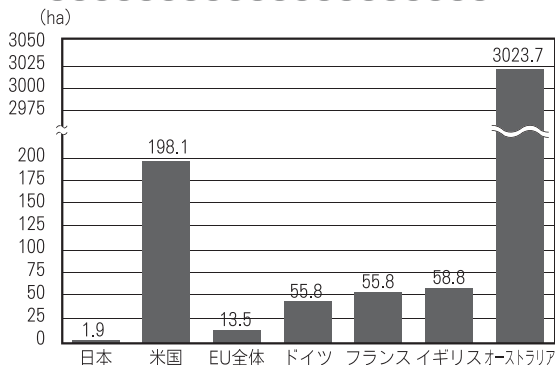
日本の国土の7割が中山間地

わが国は国土の70%以上が中山間地という国土条件にあります。このため日本の農家は、米国やオーストラリアの大規模農家と異なり、もともと経営規模が小さく中山間地などの困難な条件のもとで作付けしている農家が多いのが実態です。このため土地利用型作物を中心に生産費が高く、外国から低価格の農産物が輸入されると、日本農業は壊滅的な打撃を受け食料自給率は大きく下がってしまいま

さまざまな産業に影響

関税は、各国の生産条件の差を調整するための重要な手段です。その関税がなくなると、丸はだかで米国やオーストラリア産の農産物の競争を強いられ、日本農業は壊滅的な打撃を受けます。また、TPPは、農業だけでなくサービスの自由化や国内制度の規制緩和・撤廃など多岐にわたるため、それぞれの国のなかには強い産業の分野だけが残ることになります。これでは、日本の社会を支えていた各種の仕組みや基準が一変しかねなくなることも考えられます。

農家一戸当たりの農地面積



TPPの交渉分野

市場アクセス（関税撤廃）

繊維・衣料品

工業 農業

市場アクセス以外にも幅広い分野を交渉

銀行・保険 電気通信

原産地規則 衛星植物検疫

政府調達 知的財産権

その他、15分野

想定される具体例

- 米産牛肉の輸入制限の緩和
- 世界基準を踏まえた残留農薬、有機農産物、食品表示、食品添加物など基準作り
- 医師・看護師・介護福祉士等の労働市場の解放
- 公共事業の入札制限の見直し 等

国境措置撤廃による主要農畜産物等の影響（試算：農林水産省）

商品名	生産減少率	生産減少額（百億円）	影響試算
米	90%	197	新潟産コシヒカリ、有機米等のこだわり米を除いて外国産に置き換わる
小麦	99%	8	国内産小麦100%をセーフポイントとした小麦粉用小麦を除いて外国産に置き換わる
甘味資源作物	100%	15	品質格差がなく、すべての外国産に置き換わる
でん粉原料作物	100%	2	品質格差がなく、すべての外国産に置き換わる
牛乳乳製品	56%	45	乳製品では、鮮度が重視される生クリーム等を除いて置き換わる。飲用乳では、業務用牛乳等を中心に2割が置き換わる
牛肉	75%	45	4.5等級は残り、3等以下は置き換わる

政府は、今年6月をめどに参加の是非を決めるとされています。菅首相は1月の通常国会でも参加に強い意欲を示しました。昨年11月、経済連携の推進と強い国内農業の育成を検討・推進する「食と農林漁業の再生実現会議」を立ち上げ、有識者による議論を進めています。JAグループは、TPPと国内農業の両立はできないと主張。日本農業を壊滅させるTPP交渉への参加反対に向けた1000万署名活動を行っています。正しい情報を伝え、広く国民の皆さまから理解と支持を得るため、全国的な署名活動に取り組んでいくのではありませんか！

1千万署名活動への協力を

「平成の開国」にYes or No?

TPPで日本の農業は どうなる!?

経済アナリスト 森永卓郎氏に聞く

TPPへの参加の是非が論議されています。TPPは、参加国間の関税を例外なく撤廃する貿易協定です。日本政府は今年6月にもTPP交渉参加の是非を判断することになっています。この協定は、日本の農業にどんな影響を与えるのでしょうか?

森永 卓郎
(もりながたくろう)

1957年東京都生まれ。東京大学経済学部経済学科卒業。日本専売公社、三和総合研究所などを経て経済アナリスト(評論家)濁協大学経済学部教授。専門はマクロ経済・計量経済・労働経済。近著『ニュースのウラ読み経済学』(PHP新書)。



TPPは米国の 強い意向

菅総理は通常国会冒頭の施政方針演説で、「平成の開国」としてTPP交渉への参加を検討すると高らかに宣言しました。TPP参加9カ国のうち、日本は7カ国と自由貿易協定(FTA)や、経済連携協定(E

PA)を締結、あるいは締結を予定しています。つまり、日本がTPPに参加することによって関税の撤廃に向かうのは、実質的に米国とニュージーランドだけということになります。従って、日本がTPPに参加することで生まれる最大の影響は、米国との間で相互に関税の撤廃をすることによってもたらされます。そもそも、2009年の衆議院議

員選挙のマニフェストでは、民主党は、米国とFTAの締結を目指すとしていました。それが、なぜTPPに変わってしまったのでしょうか。その背景には、米国からの強い要求があります。米国はリーマンショック以降の経済復興を輸出の倍増を通じて図ろうと考えています。そのためにも思い切った金融緩和を行ってドル安に誘導したり、中国に大量の航空機を買ってもらったりと、さまざま手を打っています。その中で、日本への農産物輸出についても、劇的に拡大しようとしているのです。2国間の協定とされる場合が多いFTAは、特定の農産物を関税撤廃の対象外とするという例外規定をつくりやすいのですが、TPPは多国間の協定なので、例外をつくりにくいのです。

そのとき消費者の 選択は?

それでは、仮に農産物の関税が撤廃されたら、何が起きるのでしょうか。それに関しては農林水産省が詳しい試算を行っています。関税が撤廃され、何も対策を講じない場合、農産物の生産額は4・1兆円減少し、食料自給率が現在の40%から14%へと低下します。GDP(国内総生産)

は7兆9000億円減少し、340万人の雇用が失われます。

農林水産省は19の主要品目について推計を行っているのですが、生産の減少率は、米が90%、小麦が99%、牛肉が75%、甘味資源作物とでんぷん原料作物は100%となっています。関税を撤廃すると、日本の農業は壊滅的打撃を受けるのです。

TPPに参加したとしても、日本の農業は高品質で安全性の高い農産物を作っているのだから、大きな影響は受けたいとする人もいますが、私はそうした意見には懐疑的です。例えば、米については、ブランド米や有機米などは、安い米が輸入されるようになっても影響は受けられないでしょう。しかし、そうした高級米のシェアは1割に過ぎません。残り9割の普通の米はどうでしょうか。

1993年の米不足のときに輸入されたタイ米は、国民にとっても不人気で、後に不法投棄事件まで起こったので、外国産の米など買うはずがないと考えるのは早計です。このときに輸入された米は長粒種が中心で、日本で作られている短粒種とは種類が違っているので、パサパサして食べられなかったのです。海外でも短粒種の米は作られていて、その食味は日本の米と大きな差がありません。

TPPって何ですか？

TPPは環太平洋連携協定(Trans-Pacific Partnership)の略称で、そもそもは2006年5月にシンガポール、ブルネイ、チリ、ニュージーランドの4カ国間で締結された協定。物品貿易に加え、投資、サービス、政府調達など幅広い分野を対象とした包括的なEPA(経済連携協定)として期待されている国際的な枠組み。特に貿易関税に関しては例外品目なく100%関税を撤廃するFTA(自由貿易協定)を目指している。

2010年に日本で開催されたAPECにおいてシンガポール、ニュージーランド、ブルネイ、チリ、米国、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシアの9カ国が交渉参加を表明。日本も菅首相が参加検討を表明、2011年6月までに交渉への参加の是非を判断するとしている。

EPA(経済連携協定)

FTAを発展させ、貿易の自由化だけでなく、投資、政府調達、知的財産権、人の移動、ビジネス環境整備など、幅広い分野で相手国と連携し貿易や投資の拡大を目指す協定。

投資環境の整備

知的財産保護の強化

技術協力

FTA(自由貿易協定)

2カ国以上の国・地域が相互に貿易制限を撤廃または削減することを定めた協定。関税や非関税障壁をなくすことで自由な貿易を実現し、貿易や投資の拡大を目指す協定。

輸出入にかかる関税撤廃

サービス業を行う際の規制の撤廃

環太平洋地域の多国間EPAがTPP

TPPの枠組み

締結国(2006年発効)

シンガポール
ニュージーランド
ブルネイ
チリ

交渉参加国

米国
オーストラリア
ペルー
ベトナム
マレーシア
日本？
※ カナダ、コロンビアも参加の意向を表明

2011年APEC(開催国:米国)での妥結を目指す。

問題は価格です。外国産の米もピンからキリまであるのですが、安いものでは流通経費を加えても、小売店の店頭には10kg当たり1000円程度で並ぶでしょう。それに対して国産の米は10kgで3000円程度です。一般の消費者は間違いなく外国産の米を買うようになるでしょう。生活費に余裕があるわけではないからです。

とみられます。ですから、農林水産省が試算した米の生産が90%減少するという試算は、極めて妥当なものなものです。実は、農林水産業の生産が激減するということは、単に農林水産業への影響にとどまりません。日本の農地は、保水の役割を果たし、空気を浄化し、美しい景観をつくっています。関税撤廃で耕作放棄地が増すれば、それらの機能が一気に失われてしまうのです。農林水産省も、農業の多面的機能の喪失を3兆7000億円と推計しています。しかも、この機能は一度失ってしまう

と、取り戻すのが極めて困難になるのです。 **今は世界に通用する実力を養うとき** 私は、日本の農業の競争力が弱いとは思っていません。日本の農産物の最大の特長は、安全性です。しかし、日本の農産物の安全性を世界に浸透させるのには、時間がかかります。なぜかという点、健康を害する農産物を消費者が摂取したとしても、多くの場合、実際に健康被害が発生するのは、ある程度の時間がたって

からです。そのころには何を食べたか忘れてしまいます。仮に覚えていたとしても、人間はさまざまなものを食べているので、原因を一つに特定することが、非常に難しいのです。日本の農産物は安全だ、というブランド力を高めていくためには、少しずつ信頼を積み重ねていくしかありません。そして、日本の農業の安全性が世界から広く認められ、日本の農産物が高価格でも、世界に通用するようになったそのときになって初めて、日本はTPPへの参加を検討すべきなのです。

JAのひろば



タテのカギ

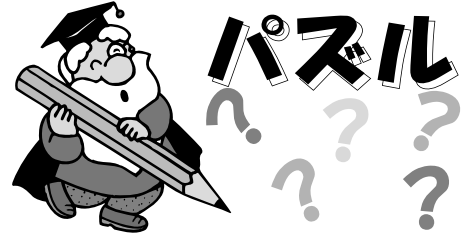
- 紙や布をチョキチョキ切る道具
- 人家の軒下に下に巣を作ることもある鳥
- 平和を象徴する鳥
- 芸能人が記者——を開く
- 鉢の土を入れ替えた
- 土地の広さを表す単位の一つ
- 郵送するものに張ります
- 樽にはめられています
- 野球で打者が振るもの
- 足に履きます
- タコより足が二本多いのです
- 相撲をとる人のこと
- 左ヒラメに右——、といわれる魚



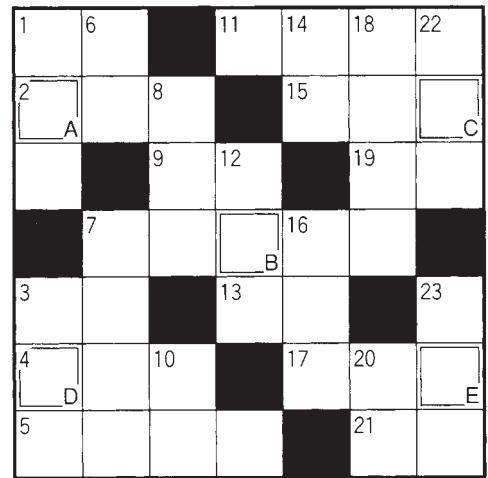
ヨコのカギ

- 5月の第2日曜は——の日です
- コーヒーには何杯入れますか?
- 二つ1組のものを数えるときに使う言葉
- をひっくり返したような雨だ
- うどんの生地を延ばすのに使います
- アヤマやショウブに似た花
- 電車が止まります
- 煮汁に水溶き——粉でとろみをつける
- は熱いうちに打て
- ピアノやバイオリン、琴などのこと
- お手洗い、ご不浄ともいいます
- ライオンのことです
- 潮干狩りに行って採ります

クロスワード



二重マスの文字を、A～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



応募方法

下記のハガキの要領で答えを記入して下さい。
正解者の中から抽選で10名に図書券を差し上げます。

締切

5月31日(火)消印有効です。

※ご応募いただいた個人情報等は、クロスワードパズルに関する連絡案内及び景品の送付以外の目的には使用いたしません。

①答え()
②印象に残った記事
③身近な出来事やご意見、ご要望、イラストなどご記入下さい。

住所
氏名
電話番号
(年齢・学年)

郵便はがき
50円
311-1415
JA茨城旭村
JAだより「ASAHI」係
銚田市造谷一〇七一番地

No.193号の答え

「ゼンザイ」

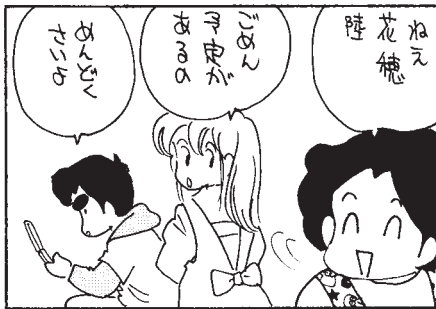


●賞品の発送をもって
当選者のお知らせに
代えさせていただきます。



読者の皆様のおたよりやご意見、身近な話題等お寄せ下さい。紙面で紹介させていただきます。

宛先 〒311-1415 銚田市造谷1071 JA茨城旭村 JAだより「ASAHI」係



読者の出来事より

●今年はずいぶん寒い！いつも学校へ行く前のちょっとした時間に孫2人はサッカーをしてから登校する。ある朝車庫にある掛け時計が止まってしまっていた。それを見た孫は「今日は寒いから時計も止まっている」と一言。因みにマイナス9度の朝だった。元気に登校しました。でももう早いもので春がすぐそこです。

—桜の開花が始まったようです。今の時期は特に早く暖かくなってほしいと思いますね。

●大相撲も八百長問題でせっかくの錚田場所も中止になり、楽しみにしていたのに残念です。膿を全部出し切って、ファンの期待を裏切らないよう再出発してもらいたいです。

—いろいろ悪いことが重なっ

てしまいました。が、錚田場所はいつか必ず開催してほしいですね。

●久しぶりの積雪で車の運転が大変でした。

—雪道の運転は本当に怖いですね。雪の他にも路面が凍ったりとするとさらに……。今後は暖かくなるでしょうが安全運転に気をつけましょう。

●今年はずいぶん寒い。楽しく明るく頑張りましょう。

—今年こそ、明るさ・楽しさで頑張りましょう。

●サングリーン旭の新春ふれあい市に行き、とても楽しかったです。タイムサービステイコを買いました。美味しかったです。

—初めてサングリーン旭新春ふれあい市に行ってきた。さつまいもやたくさんの人でいっぱいでした。帰りにイチゴを買ってきました。とても甘くて美味しかったです。

—初めてのご来店、ありがとうございます。これからサングリーン旭、JA茨城旭村ではメロンの季節となります。こちらもおススメですので、ぜひまたご来店ください。

●年に一度の誕生日！私の希望として夕食にステーキを食べに行くのが恒例になっています。

—誕生日に恒例行事があるのは嬉しいですね。至福の時間には普段のご家族の感謝の気持ちがあるのだと思います。楽しい時間があったという間に過ぎてしまうのもまた一興かと。

—誕生日に恒例行事があるの嬉しいですね。至福の時間には普段のご家族の感謝の気持ちがあるのだと思います。楽しい時間があったという間に過ぎてしまうのもまた一興かと。

編集後記

今回の大震災により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

3月11日金曜日、午後2時46分18秒からの生活は以前とは大きく変わりました。電気・水道などのライフラインの大切さを実感し、節電に努めること。また、それは別に過度の自粛で経済活動を麻痺させないようにすること。そしてなにより、未だ続く原発事故の影響による青果物被害。あらためて食の大切さを実感する日々です。JAも被災者に最大限の支援を行っています。私個人も、出来ることから頑張りたいたいと思います。

表紙から

4月2日に行われたJA茨城旭村青年部による青果物宣伝配布会の様子です。

東日本大震災とそれに続く福島第一原発事故の影響による農畜産物の出荷停止、風評被害に対し、一刻も早い回復の為、今回の取り組みとなりました。

当日、会場となったひたちなか市の堀川保育園では入園式が行われており、たくさんの父兄の方や近隣の住民の方にお集まりいただきました。

いちご、さつまいも、水菜、ちぢみ小松菜等を配布し、青果物の安全性のPRと、被害の大きい東北地方へ義援金として送るための募金箱を設置いたしました。

生産者もまた被災者であるため、チャリティーにご協力いただいた方からは「無償配布ではなく販売しては？」という意見もありましたが、当地域は人的被害が避けられたこともあり、まずは激甚被害のあった東北地方の支援の為、募金箱の設置としました。

